



# 2020

---

# CSR REPORT

株式会社ミカサ CSR レポート



私たちミカサグループは、建物環境整備、企画運營業務を  
トータルに行うグループです。



ミカサグループ (株式会社ミカサ・三笠エンジニアビルグ株式会社・宗像緑地建設株式会社・三栄観光開発株式会社)

#### 屋内施設系

- ・ビル建物管理業 (清掃 設備 / 防除 / 飲料水)
- ・受付フロント料金出納業務
- ・電話交換業務
- ・ホテル・商業施設・飲食店清掃
- ・荷物カート回収業
- ・施設警備業
- ・ホール舞台運営
- ・遠隔監視業

#### 屋外施設系

- ・植栽公園維持管理
- ・駐車場管理
- ・大型バス室内清掃

- ・イベント企画運営
- ・社会貢献活動 (地域公益活動)

#### 専門別系

- ・体育館・スポーツ施設運営
- ・学校教育施設管理
- ・病院施設管理
- ・図書館運営
- ・地域コミュニティセンター運営
- ・不動産・マンション管理

#### 人材開発系

- ・労働者派遣業
- ・外国人技能実習生研修業務

#### 水処理系

- ・上下水道処理施設管理
- ・産業廃棄物収集運搬
- ・工業用水道施設管理
- ・雨水排水貯水管理

#### 工事系

- ・機械設備修繕工事
- ・配管設備修繕工事

#### 衛生系

- ・環境衛生管理
- ・空調管理
- ・給排水管理
- ・新型コロナウイルス消毒

## CONTENTS

トップメッセージ	<u>01-02</u>
SDGsにつながる取り組み	<u>03-04</u>
「with コロナ」時代に合わせた取り組み	<u>05-06</u>
持続可能な社会をめざして	<u>07-10</u>
地域とつながる	<u>11-16</u>
CSRレポートによせて	<u>17-18</u>
社会活動を支援する	<u>19-20</u>
社員の幸せを守る	<u>21-24</u>
社員の成長をサポートする	<u>25-26</u>
CSV へ向けた取り組み	<u>25-26</u>

### CSRレポートによせて

平素より、株式会社ミカサの事業・活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2020 年度も、「社会貢献」という創業時からの企業理念のもと、「安心・安全で持続可能な社会」の実現を目指し、地域に根差した事業活動を積極的に展開しました。ミカサは引き続き、皆様とコミュニケーションを取りながら、地域社会に役立つ情報の発信や活動を推進していきます。

本レポートは、1 年間の CSR 活動の取り組みをステークホルダーの皆さまにお知らせするために作成しました。ご意見・ご要望がございましたら、ミカサまでお寄せください。

CSR レポート 2020 実行委員  
代表 濱口 宏一郎

## 変わりゆく時代に対応し、 組織として成長する

2020年の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世界は予測のつかない厳しい状況に直面しており、私たちにとってはこれまでの生活様式や意識を変える大きな契機となりました。

ミカサでは、テレワーク環境の整備や時差出勤の導入等、社員やその家族の安全確保を最優先し、コロナ禍での社内対応を速やかに行いました。これも、「効率的な働き方の実践機会」と、前向きに捉えています。

また、市民の日常生活を支える環境整備・施設管理等に加えて、2020年度は教育施設における消毒・除菌業務を事業化しました。新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、お客様に「安心・安全」な環境を提供できるよう、今まで以上に気を引き締めて業務に取り組んでいます。

世界に目を向けると、気候変動や経済格差、貧困等、社会や環境を取り巻く課題は数多くあり、国際社会全体がこれらの解決に向けて挑戦を続けています。2015年に国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されたことでその機運は高まっており、各国の企業が果たす役割にも期待が寄せられています。

その中において、ミカサは、福岡市の「一人一花運動」の応援、リユースをテーマとした「BOOKBOOK 本市」の開催、地域の方々にSDGsの理念を紹介する映画の上映等、SDGsの実現に向けて積極的にCSR活動を展開しています。

ミカサは、創業時から一貫して企業理念に「社会貢献」を掲げています。また、「誰もが暮らしやすい生活環境づくり」を目標として事業を行っています。私たちの事業そのものが人々の環境や生活に大きな影響を与え得ることを自覚し、責任を持って事業運営していくことが重要だと考えています。

今後も人々の生活に欠かせない環境事業、ビルメンテナンス事業、指定管理事業等を担う使命感を持ち、「安心・安全」を第一として、社会と未来への責任を果たすべく誠心誠意努めてまいります。

コロナ禍で、まだまだ先の見えない状況ではありますが、変わりゆく時代に常に対応しながら、今後も「グリーンで美しいまち・快適な建物環境の創造」に取り組んでいきたいと考えています。

株式会社ミカサ  
代表取締役

倉重一男

# SDGs につながる取り組み

世界では、発展途上国から先進国まで国際社会全体で、様々な課題に取り組む動きが活発になってきています。「ジェンダー」・「貧困」・「雇用」・「気候変動」など、国際社会が取り組む社会課題の中には、私たちの暮らしと結びつくものが多くあります。この解決に向けた取り組みとして個人、団体、企業問わず、多くの努力が必要になってきます。ミカサでは、すでに事業や活動のなかに、その種を撒いています。わたしたちの行っている事業や社会貢献活動は、SDGs という国際目標に向かっているのです。



## ミカサの企業理念と5つの約束

企業理念に掲げる「社会貢献」。これは社会全体の利益あってこそという考えであり、「誰もが暮らしやすい生活環境づくり」を実現するため、我々は常に「質の高いサービス」を提供し続けることを使命としています。このたび、弊社ではSDGsの理念に賛同し、私たちがなりのCSR活動を通じて、SDGsの実現に向け努力していきます。

- PROMISE 01 水と緑、すべての環境にとって健全で美しい状態をめざします
- PROMISE 02 快適で安全なまちを実現するため何事にも誠実に向き合います
- PROMISE 03 地域あつての企業であることを念頭におき地域と共に一体となって成長します
- PROMISE 04 日々進化する先端技術へのあくなき探求を行います
- PROMISE 05 とともにビジョンの達成に向かう職員を大切にします

## ミカサの目指すもの

CSRの重要テーマを定め、それぞれのテーマにおいて目指すべきものを各事業より設定しました。さらに、SDGsとも絡め、より社会に貢献していきます。

CSR 重要テーマ	目指すもの	SDGs
持続可能な社会 をめざして	循環型社会の実現	
地域と つながる	地域の絆と安心社会の実現	
社会活動を 支援する	地域振興	
社員の幸せ を守る	ダイバーシティ社会に対応した配慮 働きがいのある職場	
社員の成長を サポートする	多様な雇用促進 人財育成	
CSV へ向けた 取り組み	環境負荷の低減	

## 特集

# 「with コロナ」時代に合わせた取り組み

### 新型コロナウイルス（感染症対策）消毒サービス

2020年1月以降、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。福岡県においても多くの場所でクラスターが発生し、教育施設や介護施設などが閉鎖されるなど、集団感染が社会機能を停止させる事態が続いています。

ミカサでは、このような状況の中、社会貢献の1つとして、環境衛生管理のノウハウを活用した「新型コロナウイルス（感染症対策）消毒サービス」を開始しました。



社内研修を修了した環境衛生管理のプロフェッショナルが従事し、集団感染・濃厚接触者が発生した施設の消毒や予防のための消毒を行いました。その実績は、福岡市内の公共施設や空港、地下鉄、教育施設や事務所ビルなど、多岐にわたります。

また、実際の消毒作業だけでなく、消毒方法や感染防止策など消毒に関する様々な情報提供やアドバイスを積極的に行い、感染拡大防止の啓発に貢献しました。



### 新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組み

新型コロナウイルス感染拡大により、世界中が感染の脅威にさらされ、私たちの日常は大きく変化しました。感染により亡くなられた方に心よりお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い事態の収束を目指し、会社一丸となって感染拡大防止に取り組んでまいります。

ミカサでは、以下のような感染拡大防止策を講じています。

#### ■ 職場環境の整備・社員の健康管理

- 出勤時の検温実施
- 37.5度以上の発熱や体調不良者に自宅待機を指示
- 全社員へのマスク配布、日常的なマスクの着用及び換気の徹底
- 積極的な時差出勤やテレワークの実施、ノートパソコンの貸し出し
- 飛沫感染防止のアクリル板の設置
- グループウェアの導入
- オンラインツールを利用した会議やミーティング
- 社員への抗原検査の実施

#### ■ 来社の皆様への対応

- 出入口におけるアルコール消毒液の設置
- 会議室等の使用前後の消毒



感染拡大防止のため、職員一同緊張感をもって業務にあたっています。そのような中で、各事業所において市民の方々から温かい応援の言葉をいただいたことは、大きな励みとなりました。私たちの仕事は、地域を支える重要な役割を担っているという認識のもと、これからもより一層責任感をもって業務に取り組んでまいります。



## 持続可能な社会 をめざして

ミカサは、環境に携わる企業として、持続可能な社会を築いていくことが、企業の社会的責任であると考えています。リユース・リサイクルできる物資を収集し、社会貢献意識の高い団体へ寄付を行っています。また、子どもたちの輝く未来のための取り組みを行い、持続可能な社会の発展に貢献します。

### SDGs との関わり



## 本のリユースイベント



### BOOKBOOK 本市

2021年3月13日に福岡市西部地域交流センター（以下、さいとびあ）で開催された「ecokoro フェア」において、「BOOKBOOK 本市」を行いました。「BOOKBOOK 本市」は、読まなくなった本を寄付していただくと同時に、新たに欲しい本を無料で持ち帰れるリユースのイベントです。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度の「BOOKBOOK 本市」は、中止となりましたが、今回は例年より規模を縮小して開催することができました。

また、さいとびあ館長のご厚意で、展示用の棚を提供していただき、子ども向けの絵本をメインに、例年と違った陳列でお客様をお迎えしました。

子どもたちだけではなく、保護者も一緒に本の世界に浸って、楽しんでいました。

ecokoro フェア	絵本	他
来場者数	84人	
持込冊数	108冊	
本持ち帰り冊数	169冊	32冊



## 社会課題解決のための取り組み

### 使用済み切手を国際協力 NGO へ寄付

ミカサに届いた郵便物の使用済み切手を収集し、女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力 NGO「公益財団法人ジョイセフ」へ寄付を行いました。



使用済みの切手



4 支援  
収集したアイテムをジョイセフに送ると、業者や収集家によって廃棄されジョイセフの母子保健活動資金になります。

女性 選択できる世界を。ジョイセフ  
JOICFP



2 販売  
業者  
収集家

3 買取

出典：公益財団法人ジョイセフのホームページ

女性 選択できる世界を。ジョイセフ

JOICFP

公益財団法人ジョイセフは、戦後の日本が実践してきた家族計画・母子保健の分野での経験やノウハウを途上国に移転してほしいという国際的な要望を受け、1968年に設立されました。国連、国際機関、現地 NGO や地域住民と連携し、アジアやアフリカで、保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援を行っています。  
(ジョイセフホームページより)  
※切手の収集は 2021 年 3 月末日で終了

<https://www/joicfp.or.jp>

### 今後の取り組み

ジョイセフが 2020 年度をもって使用済み切手の回収を終了したことを受け、2021 年度からは「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に使用済み切手の寄付を行います。  
また、コンタクトレンズの空ケースや歯ブラシ等の回収にも引き続き取り組んでまいります。



©JCV



©JCV



©JCV



### 「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を!!」キャンペーンに寄付

収集したペットボトルキャップを「ペットボトルキャップで世界の子どもたちに笑顔を!!」キャンペーン（イオングループ）に寄付しました。リサイクル業者に買い取ってもらうことで得た収益は、貧困に苦しむ世界の子どもたちの支援活動に取り組んでいる団体へ寄付されています。ミカサは 2016 年 1 月から寄付を続けており、今後も継続していく予定です。

	2020 年度実績	寄付先
ペットボトルのキャップ	70.1 kg / 17.525 人分	イオン



出典：認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会



### 使い捨てコンタクトレンズの空ケースを「アイシティ eco プロジェクト」に寄付

2020 年度に回収した使い捨てコンタクトレンズの空ケースをコンタクトのアイシティ（HOYA 株式会社 アイケアカンパニー）が行っているリサイクル運動「アイシティ eco プロジェクト」へ寄付しました。

リサイクル業者に買い取ってもらうことで得た収益は日本アイバンク協会に全額寄付され、障がい者の自立・就労支援や、視覚障がい者の視力回復のために役立てられています。使い終わった空ケースを寄付することで、再資源化による環境保全にも繋がり、身近にできる社会貢献活動のひとつとして、物品寄付に対する意識の啓発に努めました。今後も気軽に参加できる寄付活動の枠組みとして、引き続き回収ボックスを設置していく予定です。

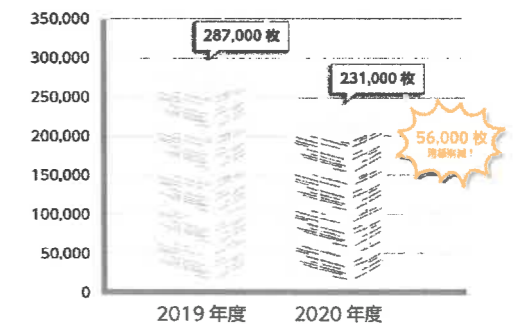
	2020 年度実績	寄付先
使い捨てコンタクトレンズの空ケース	852 g	アイシティ



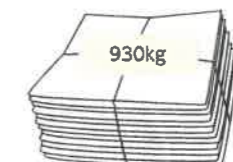
### 用紙削減と古紙回収

2020 年 6 月から、本社を中心に社内文書のペーパーレス化に取り組んでいます。コピーやプリント出力の削減目標を掲げ、部門ごとに情報資産の電子化（スキャニング）、ノンペーパー会議、紙稟議の電子化などへの切り替えを積極的に進めています。2019 年度と比較して 56,000 枚の用紙削減に成功しました。

	2019 年度	2020 年度
使用枚数	287,000 枚	231,000 枚



また、さいとびあとコミセンわじろでは、2019 年度から古紙回収の取り組みに力を入れています。不要になった用紙を捨てずに古紙回収に出すことで、資源の有効活用に取り組んでいます。





## 地域とつながる

### Community

地域住民の暮らしに深く関わる企業として、地域貢献は欠かすことができない活動です。ミカサでは、地域交流センターや体育館の指定管理業務を中心として、地域の健康づくりや、環境美化、環境活動など、さまざまな取り組みを行っています。

### SDGs との関わり



## 花と緑のまちづくり



### 花で彩るまちづくり「一人一花運動」

ミカサは、福岡市が行っている「一人一花運動」を応援しています。地下鉄大濠公園駅の入り口にある花壇は、ミカサの社員が定期的に手入れを行っており、年間を通して様々な花が元気いっぱい咲いています。以前はゴミの不法投棄が多かったコンビニ前のスペースにも花を植えたことで、「ゴミが少なくなって気持ちがいい」という声をいただくようになりました。これからも、花と緑あふれる美しいまちづくりに貢献してまいります。







## わじろ映画館

2020年12月27日、地域に身近な映画館であるわじろ映画館では「大画面で懐かしい映画を楽しんでもらう」というコンセプトの下、「パンダコパンダ」を上映しました。「となりのトトロ」や「魔女の宅急便」でおなじみの高畑勲、宮崎駿の2人が制作し、1972年に放映されたかわいくてゆかいな物語です。スタッフ一同、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、皆様をお迎えしました。子どもたちがつけるパンダのマスクも、マスクをつけるともらえる万華鏡キットも子どもたちに大人気でした！子どもたちの明るい笑い声にとっても癒されたイベントとなりました。



## 新企画「さいとびあ映画館+(プラス)」

幅広い世代の地域住民が集い、声を出して笑ったり声援を送ったりできる“気軽な映画館”として2018年度に始まった「さいとびあ映画館」。2020年度は、コロナ禍で規模を小さくリニューアルした新企画「さいとびあ映画館+(プラス)」がスタートしました。「環境」「伝統文化」「人権」などの社会課題をテーマとした映画を上映し、映画ファンだけでなく市民の皆様にも、映画を通して社会課題について考える機会を提供することができました。



施設	企画	参加者数
コミセンわじろ	わじろ映画館	234名
さいとびあ	さいとびあ映画館+(プラス)	101名



## 地域とつながる「スポレク do it!」

福岡市立東・西体育館では、各体育館のスポーツ指導員が、地域の公民館などにアウトリーチ（館外指導）を行い、スポーツ・レクリエーションの振興に取り組んでいます。年齢や障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もが楽しみながら健康・体力づくりに参加できるよう事業を運営しています。

オンライン開催  
参加費無料  
申込要

スポーツトレーナーとレクリエーション・インストラクターがお届けする  
**お昼の簡単ストレッチタイム!**  
**スポレク do it!**

12:20~12:50 (受付 12:10~) オフィス・ワーカー、リモートワーカー、家事をされている方もぜひどうぞ! お気軽にご参加ください!

10/23金 猫背改善! 10/27火 腰痛解消!

大胸筋ストレッチと僧帽筋トレーニング  
難しそうだけど超簡単!

たじりトレーナー  
(西体育館)



前屈後屈で柔軟チェック!  
ビフォーアフターで自分の身体を知ろう!

ひろわたりトレーナー  
(東体育館)



- 開催形式 オンライン会議システム「Zoom」を使用
- 定員 毎回20名程度 ※定員に達し次第受付終了
- 申込方法 申込みフォームにご入力ください。  
<https://forms.gle/ZFekU7yQkFaUJkkXG>
- 申込〆切 猫背は10/20〆切 腰痛は10/24〆切  
※お申込みされた方には、当日のZOOM情報をメールにてお送りします。



申込みフォーム



【主催】福岡スポレク マネジメントグループ  
【問合せ先】NPO法人福岡市レクリエーション協会 E-mail: info@rec-fukuokacity.jp

2020年度はコロナ禍における新たな取り組みとして、オンライン・アウトリーチ（オンラインでの館外指導）「スポレク do it!」を開催しました。

「からだほぐし!」、「首・肩・腰痛予防!」、「表情筋をきたえよう!」など、誰もが自宅ですぐにできるセルフストレッチをオンラインで指導しました。外出が難しい方や遠方の方なども気軽に参加できる環境を整え、より多くの市民の皆様健康・体力づくりの機会を提供することができました。





## 社会活動を支援する

SUPPORT

ミカサは、地域と良好なコミュニケーションをとりながら、地域社会の発展に貢献できるよう、さまざまな支援を行っています。地域のイベントや活動に協賛したり、実際に社員が活動に参加したりして、地域にとって大切な活動をされている団体を支援しています。

### SDGs との関わり



## スポーツやイベントへの応援



### 企業やイベントへの協賛

福岡市の取り組みを中心にスポーツチームや地域イベントなど協賛を通じて、さまざまな応援を行っています。

#### 〔主な協賛実績〕

- 2020 アビスパ福岡サポートファミリー
- 赤い羽根共同募金
- ふくおか灯のパートナー
- 福岡クリスマスマーケット 2020
- 福岡プロバスケットボールクラブ株式会社 ライジングゼファーフクオカ
- フラワーアップスクール
- 福岡市スポンサー花壇
- 久山商工会 (花火)
- ミニふくおか 2020



(アビスパ福岡)



(赤い羽根共同募金)



(ライジングゼファーフクオカ)



▲ ふくおか灯のパートナー



▲ 福岡クリスマスマーケット 2020



▲ ミニふくおか 2020



▲ 福岡市スポンサー花壇



## 社員の幸せを守る

社員が生き活きと働き、新たな目標に挑戦し、自らの成長が実感できるよう、人材育成やワーク・ライフ・バランスの充実に向けた制度の構築や職場環境の改善に取り組んでいます。

### SDGs との関わり



## 社員が働きやすい職場づくり

### 健康促進推進事業「ミカサクラブ」

ミカサクラブは、健康促進推進事業として「スポーツとレクリエーションで会社・社会へ貢献する！」を目標に、ミカサグループの社員とご家族を対象に体・心の健康づくりに取り組んでいます。2020年度はコロナ禍において初めてのイベントで、「山を歩こう！」を実施しました。2年間の運営で見えてきた「効果」「課題」の解決に向けて、改善に取り組んでいきたいと考えています。



### 手話教室

ミカサクラブの手話教室の参加者から「全国手話検定試験を是非受験したい！」という声があがり、試験に向けて手話勉強会を行いました。2020年度は8名が受験しました。「誰もが手話に親しめる社会」をめざして、手話教室の開催を続けていきます。

#### 〔実績〕

(手話教室の開催)	2019年度	2回	・	2020年度	9回	
(受験人数)	2019年度	4級	2名	・	5級	2名
	2020年度	3級	1名	・	5級	7名

### 2020年度休業取得実績

介護休業取得者

1名

育児休業取得者

1名

産休取得者

2名



## 社員の成長を サポートする

### SKILL UP

外国人社員の採用を積極的に行っているミカサでは、社員教育に力を入れています。講座の受講や資格試験の受験機会を提供し、全体的な就業スキルの向上を目指しています。

### SDGs との関わり



## スキル向上のために

### 自己研鑽のための チャレンジ を支援

ミカサでは業務に役立つ研修を積極的に行い、また社員の資格取得を支援しています。

■より使いやすく、居心地のよい管理物件を目指して

■より高い専門的技術を身につけるために

社員は、自己の研鑽とチャレンジを続けています。

また、資格を取得した社員は、社内報：M.News に掲載され、全社員へ周知するとともに社員の励みになっています。

〔保有資格 ※一部〕

CSR 検定試験 / サービス介助士 / ユニバーサルデザインコーディネーター / ユニバーサルマナー検定  
音響技術者 / 舞台・テレビジョン照明技術者 / 健康予防管理専門士 / 生活指導員講習 (外国人技能実習制度) など

### 技能実習生のバックアップ

ミカサでは、2019 年度から技能実習生の受け入れを始めました。現在はベトナム出身の技能実習生 5 名が体育館や空港で清掃業務に携わっています。清掃に関する資格の取得や日本語能力検定の受験・合格に向けてバックアップを行い、2020 年度は 3 名がビル清掃の資格を取得、4 名が日本語能力検定 (2 級・3 級) に合格しました。また、技能実習指導員と生活指導員等で構成するチームを作り、実習生のサポート体制も整えました。さらに、日本の四季や文化に親しんでもらおうと、2020 年度は浴衣の着付け体験を行いました。

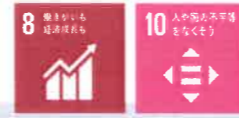
### 新卒社員のバックアップ

2020 年度は、5 名の新卒社員が入社しました。企業理念や業務内容の理解、社会人として必要なスキルの習得等を目的に、事業所見学やビジネスマナー研修、コンプライアンス研修や CSR 教育など、多様な研修を実施しました。将来のミカサを牽引する人財に成長してほしいと願っています。



## 多様な人財とともに

### 多様性のある採用への取り組み



2020年4月に入社した房（ボウ）さんに、ミカサでの仕事についてインタビューしました。

#### 入社の決め手になったことは何ですか？

私は日本の大学院でCSRについて学びました。学んだことを活かせる仕事に就きたいという思いで参加した会社説明会で、ミカサと出会いました。ミカサの企業理念が「社会貢献」とあり、CSR活動に積極的に取り組んでいることを知って、熱い思いで入社を決めました。

#### 正社員になってギャップを感じることはありましたか？

ギャップはありました。学問としてのCSRの知識はありましたが、それはあくまでも本の中にある情報に過ぎませんでした。学問以外の情報を持っておらず、もちろんCSR活動に携わった経験もありませんでした。熱意と現実のギャップ、学問として学んだCSRと現実にCSR活動を進める企業努力のギャップを感じました。

#### どんな仕事に携わっていますか？

入社当初は、CSRに関する事業を担当する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業の実施が次々と見送られました。そのため、実施できる日に備えてCSR活動の資料収集や整理を行っていました。ようやく2021年3月13日（土）に、CSR事業「BOOKBOOK本市」を開催することができました。また、福岡市西部地域交流センター（さいとびあ）にも勤務し、受付や管理業務に携わっています。利用者さんとのかかわりの中で、コミュニケーションの大切さを学ぶ毎日です。

#### ミカサの好きなところはどこですか？

とにかく周りの方々がやさしいところです。希望や熱意の方が大きかったですが、生まれ育った地ではないところで働くことに不安がないわけではありませんでした。周りの方々の支えのおかげで、入社1年目、充実した日々を送ることができました。

#### 今後の目標は何ですか？

CSR活動を発展させることです。ミカサの社会貢献意識の高さを多くの方々に知ってもらいたいと思っています。私の長所は「瞬発力」です。コロナ禍でもできる準備を進めながら、ミカサのCSRに関する事業実施の際には、持ち前の「瞬発力」を発揮したいと思っています。もうひとつは、プライベートですが、料理が上手になりたいと思っています。仕事もプライベートも充実させたいです。



2020年4月に入社したビンさんに、ミカサでの仕事についてインタビューしました。

#### 入社の決め手になったことは何ですか？

もともと日本の文化が大好きで、日本で働きたいと思っていました。ベトナムで日本語の勉強をしていた際に知人の紹介でミカサに出会い、働くことになりました。日本の語学学校に通いながら、1年半ほどアルバイトとして東体育館で清掃の仕事をし、卒業後に正社員として入社しました。他の企業に入ることも考えましたが、お世話になった会社で仕事を続けたいと思い、入社を決めました。

#### 正社員になってギャップを感じることはありましたか？

もちろんありました。責任が重くなったと感じています。福岡空港ヘリコプター施設（奈多ヘリポート）や福岡市和白地域交流センター（コミセンわじろ）の応援を任されるようにもなりました。いろいろな人と接する機会が増えたことで、人間関係に悩むこともありました。また、日本の文化に慣れるまでは少し苦労しましたが、今は結構わかってきました。

#### どんな仕事に携わっていますか？

東体育館では日常清掃が主な業務です。朝7時から9時まで日常清掃を行い、その後はトイレ・シャワールーム等の点検や、消毒、洗濯、外掃などを行います。広い体育館を2人体制で清掃するため忙しい毎日ですが、あまり大変だとは感じていません。昨年には清掃に関する資格試験を受け、スキルアップを目指しています。ビル施設管理部門の機動班の仕事を1年間経験したことで、いろいろな機械を使えるようになったことは自信につながりました。

#### ミカサの好きなところはどこですか？

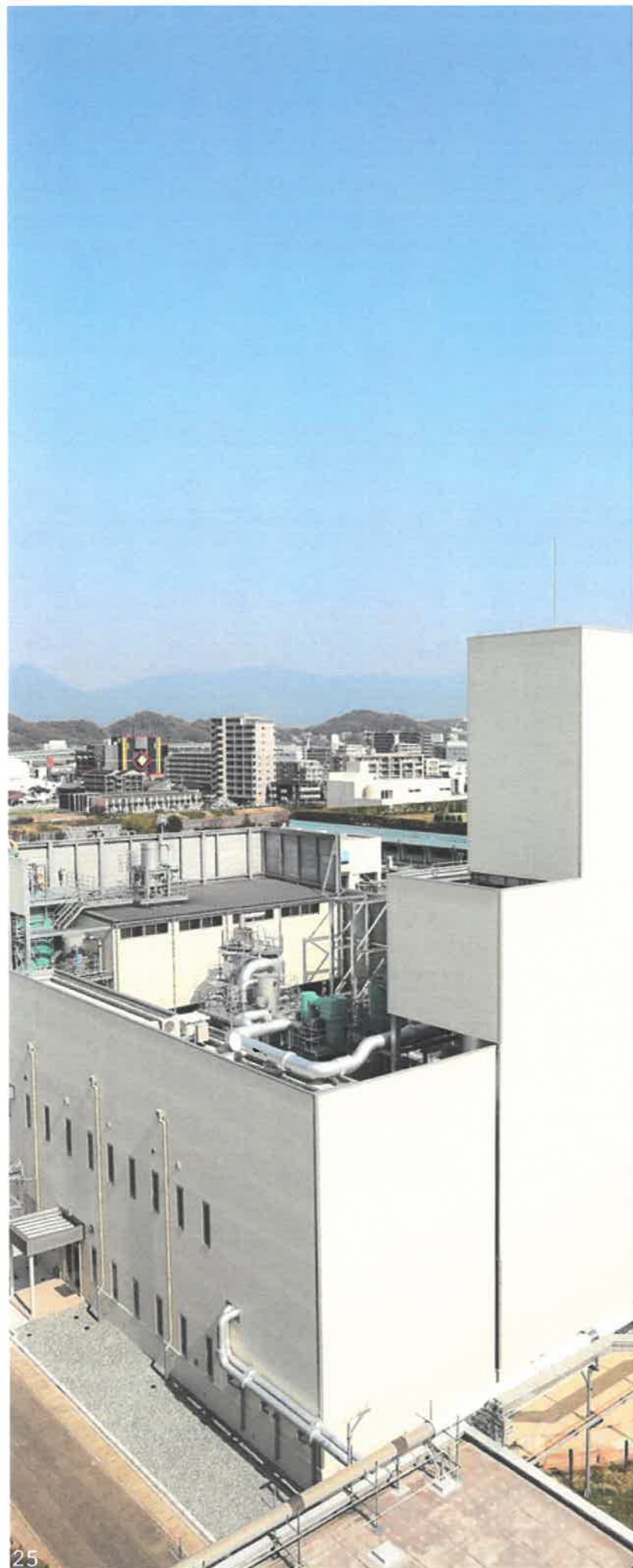
上司や同僚がとても優しいところです。覚えることが多い職場ですが、皆さんがとても丁寧に仕事を教えてくださるので、本当にありがたいです。利用者さんと話す機会もあって、毎日たくさん日本語を使える点も嬉しいです。この会社を選んでよかったです。

#### 今後の目標は何ですか？

将来ベトナムに帰ったときには語学の先生をしたいと考えているので、それに向けてできるだけ多くの経験を積みたいです。

プライベートでは、全国制覇を目標にたくさん旅行に出かけたいです。大好きな空手の稽古にも通う予定です。日本では体験や学びの選択肢が多いので、本当に充実した毎日を送ることができています。





## CSV へ向けた 取り組み

CSV Initiatives

ミカサは、地球温暖化防止に大きく貢献できる下水汚泥燃料化リサイクル事業の普及・拡大に向けて、積極的に取り組んでいます。

### SDGs との関わり



## 地球温暖化防止等への貢献

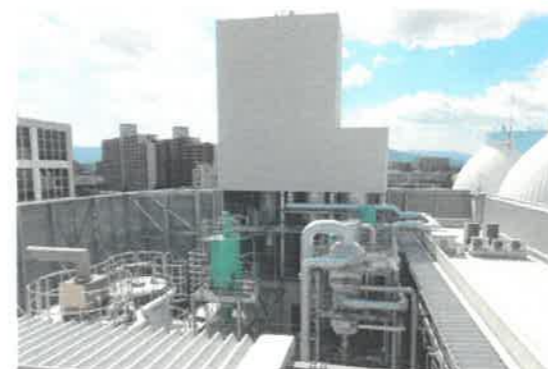
### 御笠川浄化センター 下水汚泥固形燃料化事業



2019年4月から始まった「御笠川浄化センター 下水汚泥固形燃料化事業」は、2年目が終わり、年間目標の生産量はほぼ予定通りに実施することが出来ました。運転中の突発的な故障への対応や設備の不具合に関しても、関連会社との情報交換で早急な対応が出来たため、原材料の脱水汚泥や燃料の消化ガスを無駄にすることなく、温室ガスの削減、地球温暖化防止に貢献出来たと思っております。

このプラントの運転が安定化することで、御笠川浄化センター汚泥処理において、消化槽加温設備へ排熱を利用して加温用温水を提供することが出来ています。以前は消化槽加温のため、汚泥処理で独自に消化ガスを燃料とする加温ボイラーを運転していましたが、熱の有効利用が出来たことで、御笠川浄化センター内での熱源有効利用にも寄与しています。

今後も更なる運転の安定化を目指して取り組みます。



# 沿革

## History

1975年(昭和50年)	九州クリーン工業株式会社設立 御笠川浄化センター維持管理業務
1978年(昭和53年)	「三笠特殊工業株式会社」に社名変更
1980年(昭和55年)	中央区役所高速鉄道建設局合同庁舎清掃管理業務 福岡市立東体育館管理運営業務
1981年(昭和56年)	福岡市地下鉄空港線天神駅他清掃業務 福岡空港国際線旅客ターミナルビル清掃業務
1982年(昭和57年)	福岡空港税関支署庁舎共用部分・C I Q設備管理
1984年(昭和59年)	堅粕ポンプ場運転保守業務
1986年(昭和61年)	東営業所開設 博多駅東ポンプ場運転保守業務
1987年(昭和62年)	天神中央公園駐車場清掃業務
1993年(平成5年)	福岡空港旅客用プッシュカート維持管理業務
1996年(平成8年)	交通局本庁庁舎清掃業務
2004年(平成16年)	ISO14001取得 海水淡水化センター清掃業務
2006年(平成18年)	福岡市山王雨水調整池運転保守管理業務 福岡市老人福祉センター清掃業務
2007年(平成19年)	福岡県下水道公社労働者派遣業務
2009年(平成21年)	リファレンス駅東ビル清掃・環境衛生管理業務
2010年(平成22年)	ISO27001取得 田川工業用水道施設運転管理業務
2011年(平成23年)	福岡競艇場外向発売所指定席サービス業務・料金収納事務
2012年(平成24年)	九州大学病院廃水処理設備点検業務 福岡市和白地域交流センター指定管理者
2013年(平成25年)	福岡市西部地域交流センター指定管理者
2014年(平成26年)	福岡市NPOボランティア交流センター指定管理者
2015年(平成27年)	久山町文化交流センター指定管理者 中央ふ頭クルーズセンター清掃業務
2017年(平成29年)	福岡市立東体育館・西体育館指定管理者
2018年(平成30年)	「株式会社ミカサ」に社名変更
2019年(令和元年)	御笠川浄化センター 下水污泥固形化燃料化学業 事業開始
2020年(令和2年)	新型コロナウイルス(感染症対策)消毒サービス事業 事業開始

# 会社概要

## Enterprise information

名称	株式会社ミカサ	
所在地	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14 リファレンス駅東ビル 6F	
電話	092-431-3829 (代)	
FAX	092-481-7310	
設立年月日	昭和50年1月	
資本金	3,000万円	
代表取締役	倉重一男	
従業員数	約400名	
加入団体	公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会 社団法人 福岡県警備業協会 日本環境管理学会 公益社団法人 日本下水道協会 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会 公益社団法人 福岡県産業廃棄物協会 福岡中央労働基準協会 福岡県冷凍設備保安協会 社団法人 日本ボイラー協会 福岡県流域下水道維持管理協会 一般社団法人 日本下水道施設管理業協会	
許認可種目	下水道処理施設維持管理業 国土交通省 (6) 規 24-104 建築物環境衛生総合管理業 福岡県 27 総第4号 建築物飲料水貯水槽清掃業 福岡県 27 総第4号 建築物ねずみごん虫等防除業 福岡県 27 総第4号 産業廃棄物収集運搬業 福岡県 第04000041287号 特別管理産業廃棄物収集運搬業 福岡県 第04000041287号 宅地建物取引業者 福岡県知事 (3) 第016126号 産業廃棄物収集運搬業 大分県 第04402041287号 産業廃棄物収集運搬業 山口県 第03500041287号 産業廃棄物収集運搬業 熊本県 第04305041287号 産業廃棄物収集運搬業 長崎県 第04200041287号	警備業 福岡県公安委員会 第90000079号 労働者派遣事業(マージン率:20%) 厚生労働省 派 40-301015 管工事業 福岡県 般-27 第32789号 しゅんせつ工事業 福岡県 般-27 第32789号 機械器具設置工事業 福岡県 般-27 第32789号 造園工事業 福岡県 般-27 第32789号 水道施設工事業 福岡県 般-27 第32789号 清掃施設工事業 福岡県 般-27 第32789号 浄化槽保守点検業 福岡県 第3号 一般貨物自動車運送業 九運貨物第611号
ISO 認証	ISO14001 (環境マネジメントシステム) ISO27001 (会社マネジメントシステム)	